

OCD-Germanium User Manual



各コントロールについて

Volume	音量を調節します。
Drive	より歪ませたい場合は時計回りに回し、よりクリーンなサウンドを得たい場合や、基本的なトーンを変えずにアンプの入力をブーストしたい場合は 10 時方向より下に保ちます。
Tone	反時計回りに回すとハイゲイン・リードサウンドがよりスムーズになり (Drive ノブを 12 時よりも高く設定した状態で)、時計回りに回すとカット感が増し、コンプレッション感が減ります。
HP/LP Switch	HP (High Peak) に設定すると、Drive ノブの全レンジで歪みが増加し、ボリュームが増え、ミッドレンジ (1-2Khz 付近) がわずかに増加し、より「プリティッシュ」な雰囲気になります。LP (ローピーク) に設定すると、ギターとアンプの原音に極めて忠実なサウンドが得られます！クリーン・ブースティング、クランクさせたブラックフェイスやツイード・スタイルのもの、プリティッシュ・タイプのサウンドを求めない場合に最適です。
ON/OFF Footswitch	オン / オフを切り替えるスイッチです。

入出力について

INPUT	1/4" モノラル標準フォン入力端子
OUTPUT	1/4" モノラル標準フォン出力端子

電源について

DC INPUT

高品質で安定化された 2.1mm x 5.5mm プラグの 9 ~ 18VDC センターマイナス電源で動作します。

BATTERY

9 ボルト電池 (006P バッテリー) で駆動させることも可能です。電池交換の際は、筐体左右のネジを回して外し、ペダルの上部と下部を分離して電池を交換します。

True-Bypass/Enhanced Bypass セレクトスイッチについて

長年にわたり、平均的なギタリストのリグは数台のペダルで構成されており、トゥルー・バイパス (TB) スwitching がクリーンな信号経路を実現する究極の方法でした。今では、ほとんどのギタリストは 10 台以上のペダルを備えた、手の込んだペダルボード使用しており、複数のジャンパー・ケーブル、複数のエフェクター (トゥルー・バイパスであっても) により、トーンやダイナミクスの損失が発生し、ピッキングニュアンスの違いにアンプが反応しなくなります。エンハンスト・バイパス (EB) は、Fulltone 独自のバイパス・システムで、ケーブルや他のペダルによって失われたダイナミクスとトーンを取り戻します。バイパス方式の切り替えは、4 つの蝶ネジを全て外し、バイパス・スイッチを上 (EB) または下 (TB) にスライドさせることで選択できます。

注意：スイッチは真ん中ではなく、完全に上下に設定してください。

OCD-Germanium について

Fulltone Obsessive Compulsive Drive (OCD) は非常にオープンなサウンドのオーバードライブ / ディストーション回路で、他のオーバードライブとは異なり、ダイナミックレンジが広く、ソフトにピッキングするか、ハードにピッキングするかの違いで、従来のダイオードクリップのオーバードライブよりもコンプレッションが少なく、よりナチュラルでワイドレンジな歪みが得られます。OCD はまた、演奏しているギターやアンプ本来のトーンを変えることなく複雑な倍音を生み出し、他のドライブ・ペダルがサウンドに与えてしまう「こもった毛布」のようなものを取り除きます。OCD は、JFET オペアンプをオーバードライブさせ、さらに 2 つの MOSFET を「Vref. この方式は OCD 以前のペダルには存在せず、この設計が様々なギターやアンプと非常に相性が良いことが分かるだろう。

OCD-Germanium User Manual



出力ボリュームが大きいいため、OCD はアンプの前でブースターとして使用したり、マスターボリュームのアンプを通して、一般的な OD よりもはるかにハードにドライブさせたりするのに適しています。OCD は、リビングルームの音量でもアンプをクランクさせたような印象を与えることができるため、クリーンな演奏がよりダイナミックになり、ダーティーなサウンドでも倍音が鳴り響きます。OCD は、ギターのパリューム・コントロールを上げ下げするだけで、他の様々な中間的なサウンドニュアンスにアクセスすることができます。

カスタムショップの OCD-Ge は、他の OCD バージョンと異なる特徴を備えています。

Germanium Diodes (ゲルマニウムダイオード) :

マッチングされた一対のゲルマニウム・ダイオードが、一対の MOSFET と組み合わせて使用されています。これにより、クリッピング・スレッショルドが広がるだけでなく、クリッピングがゲルマニウム・ダイオードの「ソフト・ニー」特性を帯び、真空管のような感触を与え、オクターブ・アップの倍音が強調されます。

Audio (Log) Taper Volume Pot

(オーディオテーパーボリュームポッド):

初期の OCD には、オーディオ・テーパー・ボリューム・ポットが付いていて、ボリューム・ノブの回転スweep中にボリュームが出る位置を変えることができます。CS-OCD-Ge は通常の OCD よりも少し音量が大きいため、オーディオ・テーパーを採用しました。オーディオ・テーパーを採用することで、ポットの回転の下 3 分の 1 あたりを超慎重に操作しなくても、適切な音量を見つけることができます。

A more open sound

(さらなるオープンサウンド) :

ゲルマニウム・ダイオードがもたらすソフトな特性のおかげで、いくつかの値を微調整してより多くの高域を通すことが可能になりました。